

高山市学校施設長寿命化計画

令和 3 年 3 月

高山市教育委員会

目次

1	計画の背景と目的	1
1-1	計画策定の背景	1
1-2	計画策定の目的	1
1-3	計画期間	1
2	学校施設の目指すべき姿	2
3	学校施設の実態	3
3-1	対象施設一覧	3
3-2	児童・生徒数及び学級数	5
3-3	学校施設の保有量	5
3-4	今後の維持・更新コスト（従来型）	7
4	学校施設整備の基本的な方針等	9
4-1	学校施設の規模・配置計画等の方針	9
4-2	改修等の基本的な方針	9
5	基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等	11
5-1	改修等の整備水準	11
5-2	維持管理の項目・手法等	11
6	長寿命化の実施計画	12
6-1	学校施設の改修等に関する優先順位付けの考え方	12
6-2	今後の維持・更新コスト（長寿命化型）	14
6-3	長寿命化の効果	14
7	長寿命化計画の継続的運用方針	15
7-1	情報基盤の整備と活用	15
7-2	推進体制等の整備	15
7-3	フォローアップ	15

1 計画の背景と目的

1-1 計画策定の背景

第2次ベビーブームに呼応し、昭和40年代後半から50年代にかけて全国的に多くの小中学校が建設されましたが、築後30～50年が経過した現在、それらの施設が一斉に更新時期を迎えつつあります。一方、近年の少子高齢化や教育環境の多様化、バリアフリーや省エネルギーに対する配慮など、学校施設を取り巻く環境への対応が時代とともに変化しつつあります。

こうした状況を受け、国は、各自治体における「公共施設等総合管理計画」の策定と、施設毎の「個別施設計画」の策定を推進し、公共施設の長寿命化を図るとともに、中長期的な維持管理・更新に係るトータルコストの削減や予算の平準化を図る方向性を打ち出しました。

本市においては、平成29年6月に「高山市公共施設等総合管理計画」（以下「総合管理計画」といいます。）の基本方針を、令和2年4月には実施計画を策定し、市の公共施設の総合的かつ計画的な管理・運営を行うこととしています。

本市の小中学校施設においては、建築物に経年劣化が見られ、改修が求められているものが数多くあり、中長期的な整備計画を策定し、維持管理費用に見通しをつけることが強く求められています。

1-2 計画策定の目的

本計画は、小中学校の施設や設備等の経年劣化を計画的に改善し長寿命化を進めることで、施設の維持・更新にかかるトータルコストの削減を図ることを目的として策定します。

また併せて、教育環境の質的向上、バリアフリーや省エネルギーの推進、防災機能の強化への対策等を行うことで、子どもたちが安全・安心して集い、学ぶことができる場として、また地域コミュニティの拠点としてふさわしい場となるよう取り組んでいくことを目的に策定します。

1-3 計画期間

総合管理計画では、計画期間を平成29年から概ね30年間としています。本計画の期間についても同じとします。

なお、高山市教育振興基本計画及び総合管理計画の見直し時期には、本計画についても、必要に応じ内容の見直しを行います。

2 学校施設の目指すべき姿

第3期高山市教育振興基本計画（令和2年3月）では、本市の教育における目標を「飛騨高山に誇りと愛着を持ち、学び得た知識や能力を活かし、社会で活躍できる心豊かな市民を育みます」としています。また、学校教育分野においては、「郷土に根ざし、未来を切り拓くための資質・能力を育む」ことを目指しています。

これらの目標を踏まえ、学校施設の目指すべき姿を以下のとおり設定します。

1. 主体的・対話的な深い学びで生きる力を育む教育の推進

- ・ICT機器の整備など、学習能力の向上につながる学習環境を整備します。
- ・少人数教育や特別支援教育など、多様な学習形態への対応を図ります。

2. すべての子どもに居場所をつくる教育の推進

- ・ユニバーサルデザインに配慮した施設整備を進めます。

3. 地域全体の協働による郷土教育の推進

- ・学校運営に関わる様々な人が、訪れやすく利用しやすい施設を目指します。
- ・屋内運動場施設などの地域開放を進めることで、児童・生徒の活動の場としてだけでなく、地域住民の様々な活動の場として親しまれる施設を目指します。

4. 時代の変化に対応した教育環境の整備

- ・地域の環境と調和を図り、地元風土を継承した意匠とすることで、地域住民に愛着を持ってもらえる施設を目指します。
- ・省エネルギー化を進めるなど、環境負荷の軽減を図ります。
- ・非構造部材の耐震対策を進めるなど、防災性の高い施設を整備します。
- ・維持管理性能に配慮し、耐久性の高い資材を採用するなど、保全性能の向上とランニングコストの縮減を図ります。
- ・小中一貫教育の推進も視野に入れた施設整備を進めます。

3 学校施設の実態

3-1 対象施設一覧

本市には、小学校 19 校、中学校 12 校の合計 31 校の学校施設があります。

表 対象施設一覧（令和2年4月1日現在）

区分	No	学校名	所在地	校舎施設延床面積 (㎡)	児童生徒数 (人)	学級数 (学級)
小学校	1	東小学校	高山市松之木町2962-1	6,887	404	16
	2	西小学校	高山市総和町2-18-1	5,428	169	7
	3	南小学校	高山市岡本町1-18	6,616	375	15
	4	北小学校	高山市桐生町2-21	7,760	683	26
	5	山王小学校	高山市片野町6-400	6,476	509	21
	6	江名子小学校	高山市江名子町2838	3,939	254	12
	7	新宮小学校	高山市新宮町2635-2	5,122	418	15
	8	三枝小学校	高山市中切町715	4,246	122	8
	9	岩滝小学校	高山市滝町220	2,246	10	3
	10	花里小学校	高山市花里町1-54	5,406	287	14
	11	丹生川小学校	高山市丹生川町町方65-1	5,602	224	10
	12	清見小学校	高山市清見町三日町112	3,283	115	9
	13	荘川小学校	高山市荘川町新淵130	3,501	45	5
	14	宮小学校	高山市一之宮町3050	5,380	136	8
	15	久々野小学校	高山市久々野町久々野1772	5,424	182	9
	16	朝日小学校	高山市朝日町万石728	3,818	63	6
	17	国府小学校	高山市国府町広瀬町2586-6	6,791	404	16
	18	本郷小学校	高山市上宝町在家1642	3,638	52	5
	19	栃尾小学校	高山市奥飛騨温泉郷栃尾350	3,230	61	7
	小 計			94,793	4,513	212
中学校	1	日枝中学校	高山市森下町1-200-1	7,852	448	14
	2	松倉中学校	高山市上岡本町4-119	7,223	437	15
	3	中山中学校	高山市下岡本町2663	7,734	455	15
	4	東山中学校	高山市松之木町262	7,571	316	12
	5	丹生川中学校	高山市丹生川町町方1500	5,373	125	7
	6	清見中学校	高山市清見町三日町477-1	4,568	72	4
	7	荘川中学校	高山市荘川町猿丸27	3,787	30	4
	8	宮中学校	高山市一之宮町3072	3,115	61	5
	9	久々野中学校	高山市久々野町久々野2319	4,569	92	4
	10	朝日中学校	高山市朝日町立岩777	4,108	40	3
	11	国府中学校	高山市国府町三日町450	6,565	233	10
	12	北稜中学校	高山市上宝町本郷652	4,488	73	3
	小 計			66,953	2,382	96
合 計				161,746	6,895	308

資料：令和2年度 学校施設台帳

表 学校施設の改修履歴一覧（令和2年4月1日現在）

区分	No	学校名	主な改修履歴	
			校舎	屋内運動場
小学校	1	東小学校	H24地震改築、R1空調	
	2	西小学校	H8地震改築・大改(老朽)、H14大改(校内LAN)、 H19地震改築・大改(トイレ)、R1空調	H19大改(障害児等対策)
	3	南小学校	R1空調	
	4	北小学校	H7大改(老朽)、H14大改(校内LAN)、H18地震改築、 H19エコ改修・地震改築、R1空調	H22地震改築
	5	山王小学校	H5大改(老朽)、H11地震改築・大改(老朽)、H14大改(校内LAN)、 H21地震改築、R1空調	H22地震改築
	6	江名子小学校	H5大改(老朽)、H9地震改築・大改(老朽)、H14大改(校内LAN)、 H21大改(トイレ)、R1空調	
	7	新宮小学校	H7大改(老朽)、H14大改(校内LAN)、H20耐震補強、 H31長寿命	
	8	三枝小学校	H6大改、H14大改(校内LAN)、H21地震改築、R1空調	
	9	岩滝小学校	H14大改(校内LAN)、H24地震改築・大改(トイレ)、R1空調	
	10	花里小学校	H14大改(校内LAN)、H18大改(トイレ)、H22地震改築、R1空調	
	11	丹生川小学校	H14大改(校内LAN)、H18大改(トイレ)、R1空調	H22大改(法令適合等)
	12	清見小学校	H13大改(校内LAN)、H14大改(トイレ)、H22地震改築、R1空調	H12改築、H22地震改築
	13	荘川小学校	H20大改(トイレ)、H22地震改築、R1空調	H3大改、H13大改(トイレ)、H18地震改築
	14	宮小学校	H9・H10大改(老朽)・耐震補強、H14大改(校内LAN)、R1空調	H14倉庫改築、H9・H10大改(老朽)・耐震補強、 H24大改(障害児等対策)、H25防災機能強化
	15	久々野小学校	H12・13地震改築・大改(老朽)、H8大改(障害児等対策)、R1空調	H13大改(老朽)
	16	朝日小学校	R1空調	
	17	国府小学校	H21危険改築、H22地震改築、H26・H27大改(老朽)、R1空調	
	18	本郷小学校	H13大改(法令適合等)、H19耐震補強、H29・H30大改、R1空調	H21地震改築
	19	栃尾小学校	H22地震改築、R1空調	
中学校	1	日枝中学校	H14大改(校内LAN)、R1空調	
	2	松倉中学校	H14大改(校内LAN)、H22地震改築、H23大改(トイレ)、 H26・H27大改(老朽)、R1空調	H21耐震補強、H23大改(障害児等対策)
	3	中山中学校	R1空調	
	4	東山中学校	H10耐震補強、H10・H11大改(老朽)、H14大改(校内LAN)、 H21・H22大改(老朽)・地震改築、R1空調	
	5	丹生川中学校	H3大改(教育方法等)、H4・H5・H6大改(老朽)、 H14大改(校内LAN)、H19耐震補強・大改(トイレ・法令適合)、 H22地震改築、H31長寿命	
	6	清見中学校	S61大改(老朽)、H13大改(校内LAN)、H18耐震補強、 H29大改(老朽)、R1空調	H5大改(老朽)
	7	荘川中学校	H20耐震補強、R1空調	
	8	宮中学校	H21地震改築、R1空調	
	9	久々野中学校	R1空調	
	10	朝日中学校	H18大改(トイレ)、R1空調	
	11	国府中学校	H14大改(校内LAN)、H22地震改築、R1空調	H14大改(校内LAN)
	12	北稜中学校	H24地震改築、R1空調	

資料：令和2年度 学校施設台帳

3-2 児童・生徒数及び学級数

本市が市町村合併した平成17年以降の児童・生徒数の推移をみると、現在（令和2年）の小学校の児童数は4,513人で、ピークであった平成20年に比べ、77.9%に減少しています。また、中学校の現在の生徒数は2,382人で、ピークであった平成26年に比べ、82.3%に減少しています。

学級数についても、児童・生徒数に応じて減少しており、現在（令和2年）では、小学校の学級数は212学級、中学校の学級数は96学級となっています。

こうした児童・生徒数の減少傾向は、今後も続くものと見込まれています。

表 児童生徒数の推移（将来推計含む）（人）

区分	これまでの推移(年度)						将来推計(年度)			
	H17	H20	H23	H26	H29	R2	R5	R8	R11	R14
小学校	5,753	<u>5,792</u>	5,504	5,017	4,770	4,513	4,135	3,854	3,713	3,498
中学校	2,877	2,851	2,809	<u>2,893</u>	2,561	2,382	2,342	2,185	1,959	1,887
合計	8,630	<u>8,643</u>	8,313	7,910	7,331	6,895	6,477	6,039	5,672	5,385

資料：公立義務教育諸学校学級編成及び教職員定数に関する報告書

表 学級数の推移（将来推計含む）（学級）

区分	これまでの推移(年度)						将来推計(年度)			
	H17	H20	H23	H26	H29	R2	R5	R8	R11	R14
小学校	156	225	<u>230</u>	217	218	212	198	195	189	188
中学校	76	101	102	<u>109</u>	101	96	104	95	95	92
合計	232	326	<u>332</u>	326	319	308	302	290	284	280

資料：公立義務教育諸学校学級編成及び教職員定数に関する報告書

3-3 学校施設の保有量

学校施設を築年別（経過年数）で見ると、次頁の表のとおりです。

小学校は、築40年以上の施設が20棟で全体の48.8%、築30年以上の施設は28棟で全体の68.3%を占めています。また、中学校は、築40年以上の施設が8棟あり全体の33.3%、築30年以上の施設が16棟で全体の66.7%を占めています。

これらは、いずれも第二次ベビーブームに生まれた子どもが、小中学校に入学する時期に合わせて建てられたものであると推測され、現在それらの施設の多くで老朽化が目立ち始めています。

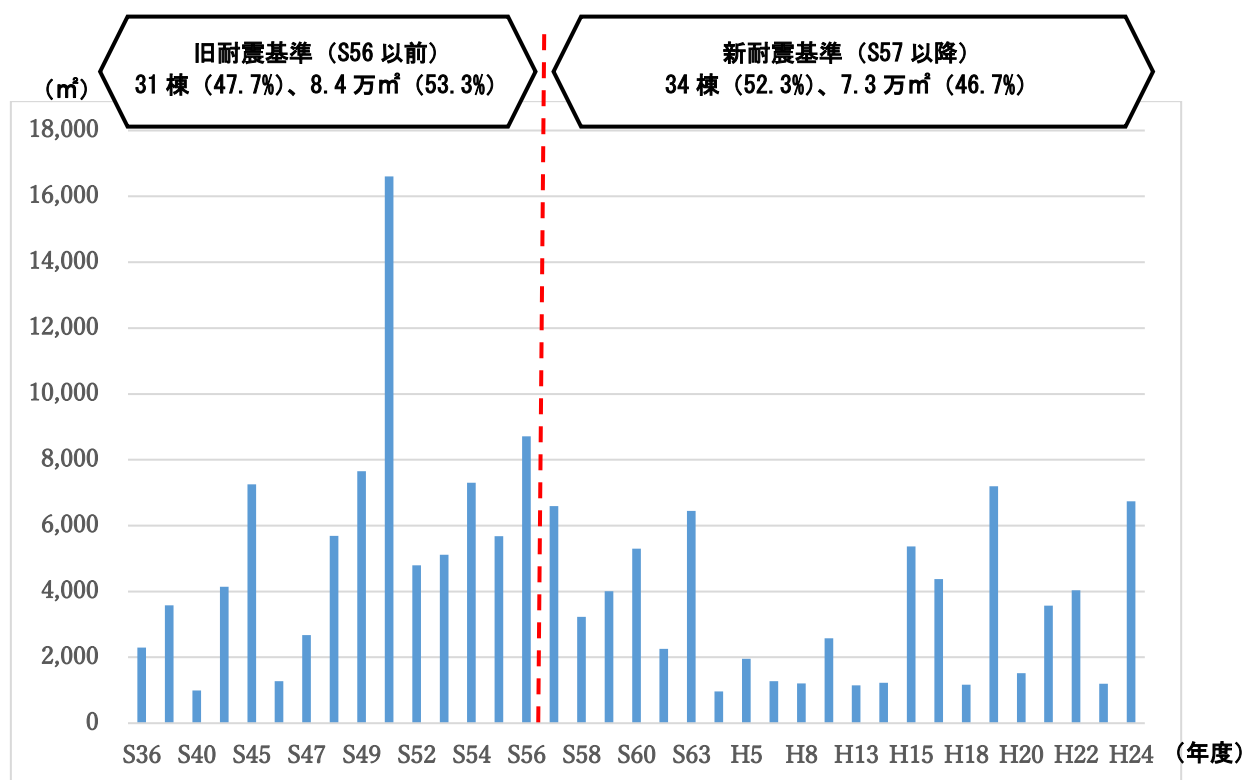
また、本計画の対象建物65棟、延床面積157,131㎡のうち、新耐震基準（昭和56年以降の建築確認）による建物は34棟、延床面積73,360㎡であり、棟数では52.3%、延床面積では46.7%を占めています。

表 学校施設の建築年度一覧（令和2年4月1日現在）

区分	建築年度	保有面積	No	学校名	内訳	経過築年数	耐震基準	
小学校	S44	4,139	1	新宮小学校	校舎	4,139	築30年以上 28棟	旧基準 20棟
	S45	3,162	2	三枝小学校	校舎	3,162		
	S47	2,678	3	江名子小学校	校舎	2,678		
	S48	5,693	4	莊川小学校	体育館	989		
			5	清見小学校	校舎	2,659		
			6	莊川小学校	校舎	2,045		
	S49	7,650	7	清見小学校	体育館	624		
			8	西小学校	校舎	4,375		
			9	本郷小学校	校舎	2,651		
	S51	10,525	10	山王小学校	校舎	5,108		
			11	宮小学校	校舎	3,207		
			12	栃尾小学校	校舎	2,210		
	S52	3,306	13	北小学校	体育館	1,214		
			14	宮小学校	体育館	2,092		
	S53	5,119	15	久々野小学校	校舎	3,892		
			16	国府小学校（北舎）	校舎	1,227		
	S54	7,300	17	久々野小学校	体育館	1,532		
			18	北小学校（北舎）	校舎	4,398		
			19	岩瀧小学校	校舎	1,370		
	S55	683	20	岩瀧小学校	体育館	683		
	S57	2,288	21	丹生川小学校	体育館	1,500		
			22	東小学校（南舎）	校舎	788		
	S58	2,078	23	北小学校（南舎）	校舎	2,078		
	S59	4,003	24	丹生川小学校	校舎	4,003		
S60	5,298	25	花里小学校	体育館	1,136			
		26	花里小学校	校舎	4,162			
S61	861	27	新宮小学校	体育館	861			
H1	964	28	朝日小学校	体育館	964			
H5	1,960	29	東小学校	体育館	1,187			
		30	栃尾小学校	体育館	773			
H6	1,279	31	山王小学校	体育館	1,279			
H8	1,206	32	国府小学校	体育館	1,206			
H11	2,576	33	朝日小学校	校舎	2,576			
H13	1,148	34	南小学校	体育館	1,148			
H15	5,369	36	南小学校	校舎	5,369			
H17	975	37	三枝小学校	体育館	975			
H19	980	38	西小学校	体育館	980			
H21	3,567	39	国府小学校（南舎）	校舎	3,567			
H22	921	40	本郷小学校	体育館	921			
H23	1,196	41	江名子小学校	体育館	1,196			
H24	4,711	42	東小学校（北舎）	校舎	4,711			
合計	91,635				91,635			
中学校	S36	2,294	1	莊川中学校	校舎	2,294	築30年以上 16棟	旧基準 11棟
	S39	3,578	2	清見中学校	校舎	3,578		
	S40	990	3	清見中学校	体育館	990		
	S45	4,095	4	丹生川中学校	校舎	4,095		
	S46	1,278	5	丹生川中学校	体育館	1,278		
	S51	6,083	6	東山中学校	校舎	6,083		
	S52	1,488	7	東山中学校	体育館	1,488		
	S55	4,994	8	国府中学校	校舎	4,994		
	S56	8,716	9	松倉中学校	体育館	1,330		
			10	莊川中学校	体育館	1,493		
			11	松倉中学校	校舎	5,893		
	S57	4,307	12	国府中学校	体育館	1,571		
			13	朝日中学校	校舎	2,736		
	S58	1,147	14	朝日中学校	体育館	1,147		
	S61	1,400	15	日枝中学校	体育館	1,400		
	S63	6,452	16	日枝中学校	校舎	6,452		
H14	1,231	35	北稜中学校	体育館	1,231			
H17	3,398	17	久々野中学校	校舎	3,398			
H18	1,171	18	久々野中学校	体育館	1,171			
H19	6,214	19	中山中学校	校舎	6,214			
H20	1,520	20	中山中学校	体育館	1,520			
H22	1,099	21	宮中学校	体育館	1,099			
H22	2,016	22	宮中学校	校舎	2,016			
H24	2,025	23	北稜中学校	校舎	2,025			
合計	65,496				65,496			

資料：令和2年度 学校施設台帳

図 計画対象の築年別整備状況



建築年	棟数	面積		
		割合	面積	割合
～S56	31	47.7%	83,771㎡	53.3%
S57～	34	52.3%	73,360㎡	46.7%
合計	65	100.0%	157,131㎡	100.0%

3-4 今後の維持・更新コスト（従来型）

改築と大規模改造による「従来型」管理を行った場合の、今後30年間の維持・更新コストを試算します。

(1) 試算条件

改築周期は、法定耐用年数とします。

表 今後の維持・更新コスト（従来型）の試算条件

工種	周期	単価
改築費用	鉄筋コンクリート造:47年 鉄骨造:34年 木造:22年	330,000円/㎡
維持管理費	随時	過去の実績を基に計算

資料：(単価)地方公共団体の財政分析等に関する調査研究会報告書

(2) 試算結果

「従来型」の場合、今後 30 年間に必要となる維持・更新コストは、約 619 億円（20.6 億円/年）になります。これは過去 5 年間（平成 27 年度～平成 31 年度）の施設関連経費 10.3 億円/年の 2 倍となります。

また、特に令和 2 年度～令和 11 年度の 10 年間では約 400 億円（約 40 億円/年）必要となり、過去 5 年間における施設関連経費の約 4 倍必要になります。

このため、従来の改築中心の整備を継続することは困難であり、対応策を検討することが必要です。

表 今後の維持・更新コスト（従来型）

年度	H27～H31	短期	中期	長期
億円止め	51.7	229.2	286.2	103.8
年平均	10.3	45.8	28.6	6.9
合計	51.7	619.2		
年平均	10.3	20.6		

4 学校施設整備の基本的な方針等

4-1 学校施設の規模・配置計画等の方針

1. 施設に対する考え方

- ・義務教育期において児童生徒が生きる力を身につけるための施設
- ・地域コミュニティを形成するための拠点としての役割も担う施設
- ・災害時において避難所等の役割も担う施設

2. 配置の考え方

- ・小中学校は、児童生徒が通学する教育施設として、身近な場所に配置する。

3. 基本的な方針

- ・小中学校は、児童生徒が通学する教育施設として、行政が直営で管理運営を行う。
(長寿命化の実施方針)
- ・施設の劣化度などの現地調査を行い、計画的に施設の維持・保全及び延命化を推進する。
(統廃合、複合化・多機能化の実施方針)
- ・少子化に対応した活力ある学校づくりに向け、地域の実情に応じた小中学校のあり方や適正規模・適正配置等について考える中で、地域の拠点施設としての役割も踏まえ、通学区再編や小中一貫校、統廃合等について検討する。
- ・福祉施設や子育て支援施設など、他の分類に属する施設との複合化を検討する。

4-2 改修等の基本的な方針

学校施設の長寿命化計画の基本方針

学校施設の長寿命化計画の基本方針

建築物の目標使用年数を80年以上とし、建築後40年～50年程度を目安に長寿命化改修を実施する。また施設の老朽化に伴う維持及び復旧を目的とした工事は、別途適時行うものとする。改修に先立っては耐力度調査等を行い、既存建築物の長寿命化改修が困難な場合は、その都度検討する。

①目標使用年数

中長期的な維持・改築等に係るトータルコストの縮減、予算の平準化等を図るため、適切な時期に長寿命化改修を行うことを前提に、鉄筋コンクリート造の建築物の目標使用年数を80年とします。なお、実際の施工時は、建築後40年～50年経過した建築物や目標使用年数までの期間が短く老朽化が著しい建築物は、長寿命化改修を行うことにより、かえって財政への負担が増加する可能性があることから、その時の財政状況や費用対効果を検証しながら、長寿命化改修の実施の有無や対策を検討します。

②改修周期

長寿命化改修は、平成26年度以降大規模改修工事を実施していない施設のうち、建築後40年～50年経過しているものを対象とし、校舎施設は1校を2年で、屋内運動場は1校を1年で改修します。なお、長寿命化改修の実施に先立っては、耐力度調査等を実施することとし、その結果、既存建築物の長寿命化改修が困難な場合は、その都度対策を検討します。

5 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等

5-1 改修等の整備水準

本市では、「4-2 改修等の基本的な方針」に定める「学校施設の長寿命化計画の基本方針」を踏まえ、施設の安全性の確保及び財政負担の軽減・平準化の観点から適切な時期に長寿命化改修を実施し、目標耐用年数（80年）に向けた施設の長寿命化を図ります。

長寿命化改修では、既存の建築物の不具合を直すだけでなく、耐久性の高い材料等への取替、維持管理や設備更新の容易性の確保、非構造部材の耐震化、地産材や木材活用による豊かな教育環境づくり、バリアフリー化等を併せて実施します。

改修にあたっては、ライフサイクルコストの向上や建築物のエネルギー効率の向上、環境負荷の低減等の観点を取り入れて進めます。

5-2 維持管理の項目・手法等

将来にわたって建築物を健全な状態に保つため、建築基準法第12条に定める点検を定期的を実施し、必要に応じて対策を図ります。

6 長寿命化の実施計画

6-1 学校施設の改修等に関する優先順位付けの考え方

本市の学校施設のうち、最も古いものは築 59 年となっています。また、築年数が 40 年以上の学校施設は 28 棟あります。

このため今後は、築年数が 40 年～50 年を経過し、建築後の経過年数が長い建築物等の現状を踏まえ、健全性を回復するための長寿命化改修を行います。また、今後 10 年程度の間長寿命化改修を行う予定のない建築物については、劣化状況を踏まえ適時修繕を行い、劣化の解消を図ります。

なお、長寿命化改修にあたっては、財政状況を勘案するとともに、必要に応じて教育環境の改善や社会的ニーズへの対応を図った、施設の複合化や減築も視野に入れて取り組みます。

<校舎の改修計画>

区分	No	学校名	時期						
			短期					中期	長期
			R2	R3	R4	R5	R6		
小学校	1	東小学校							○
	2	西小学校						○	
	3	南小学校							○
	4	北小学校						○	
	5	山王小学校						○	
	6	江名子小学校		○	○				
	7	新宮小学校	○						
	8	三枝小学校		○	○				
	9	岩滝小学校						○	
	10	花里小学校							○
	11	丹生川小学校							○
	12	清見小学校					○		
	13	荘川小学校				○	○		
	14	宮小学校						○	
	15	久々野小学校						○	
	16	朝日小学校							○
	17	国府小学校							○
	18	本郷小学校							○
	19	栢尾小学校						○	
中学校	1	日枝中学校							○
	2	松倉中学校							○
	3	中山中学校							○
	4	東山中学校						○	
	5	丹生川中学校	○						
	6	清見中学校							○
	7	荘川中学校				○	○		
	8	宮中学校							
	9	久々野中学校							○
	10	朝日中学校						○	
	11	国府中学校						○	
	12	北稜中学校							

<屋内運動場の改修計画>

区分	No	学校名	時期						
			短期					中期	長期
			R2	R3	R4	R5	R6		
小学校	1	東小学校							○
	2	西小学校							○
	3	南小学校							○
	4	北小学校						○	
	5	山王小学校							○
	6	江名子小学校							○
	7	新宮小学校							○
	8	三枝小学校							○
	9	岩滝小学校						○	
	10	花里小学校						○	
	11	丹生川小学校						○	
	12	清見小学校						○	
	13	荘川小学校				○	○		
	14	宮小学校						○	
	15	久々野小学校						○	
	16	朝日小学校							○
	17	国府小学校							○
	18	本郷小学校							○
	19	栴尾小学校							○
中学校	1	日枝中学校							○
	2	松倉中学校						○	
	3	中山中学校							○
	4	東山中学校			○				
	5	丹生川中学校					○		
	6	清見中学校		○					
	7	荘川中学校							
	8	宮中学校							○
	9	久々野中学校							○
	10	朝日中学校						○	
	11	国府中学校						○	
	12	北稜中学校							○

<プールの改修計画>

区分	No	学校名	時期						
			短期					中期	長期
			R2	R3	R4	R5	R6		
小学校	1	東小学校						○	
	2	西小学校			○				
	3	南小学校						○	
	4	北小学校				○			
	5	山王小学校					○		
	6	江名子小学校		○					
	7	新宮小学校						○	
	8	三枝小学校						○	
	9	岩滝小学校						○	
	10	花里小学校						○	
	11	丹生川小学校						○	
	12	宮小学校						○	
	13	久々野小学校							○
	14	朝日小学校						○	
	15	本郷小学校	○						

6-2 今後の維持・更新コスト（長寿命化型）

「従来型」から長寿命化改修を加えた手法へ切り替えた場合（「長寿命化型」）の、今後30年間の維持・更新コストを算定します。

(1) 試算条件

表 今後の維持・更新コスト（長寿命化型）の試算条件

工種	周期	単価
長寿命化改修	建築から40年～50年を目安	改築単価×60%
維持管理費	随時	過去の実績を基に計算

※ 建築後50年を超えている建築物は、大規模改造を行わず、長寿命化改修のみを実施する。

(2) 試算結果

長寿命化により建築物を80年間使用した場合、今後30年間に必要となる維持・更新コストは、総額413.9億円（13.8億円/年）になります。

表 今後の維持・更新コスト（長寿命化型）

年度	H27～H31	短期	中期	長期
億円止め	51.7	69.5	154.7	189.7
年平均	10.3	13.9	15.5	12.6
合計	51.7	413.9		
年平均	10.3	13.8		

6-3 長寿命化の効果

「長寿命化型」の今後30年間に必要となる維持・更新コストは13.8億円/年となり、これは過去の施設関連経費の約1.3倍になります。

しかし、築47年で改築する「従来型」の維持・更新コストの20.6億円/年と比較すると、1年あたり約6.8億円（約33%）の縮減となります。

表 従来型と長寿命化型のコスト比較

型	条件	30年間の総額	30年間の年額平均	過去の施設関連経費	コスト比較
従来型	更新周期：47年 (改築)	619億円	20.6億円/年	10.3億円/年	過去の施設関連経費の約2.0倍
長寿命化型	更新周期：40年 (長寿命化改修)	414億円	13.8億円/年		過去の施設関連経費の約1.3倍

7 長寿命化計画の継続的運用方針

7-1 情報基盤の整備と活用

学校施設の長寿命化を継続的に実施していくためには、学校施設の状況をはじめ、定期点検等の情報、改修等の履歴情報等の各種情報のデータ管理を行うとともに、確実に更新していくことが必要です。

このため、台帳の整備や点検・報告等の取組みにより、学校施設の情報を収集、管理していくものとします。

なお、各データは、施設状況に変更が生じた際や改修等が行われた際に適宜更新するほか、年度毎等に更新の実施について確認を行います。

7-2 推進体制等の整備

学校施設の所管である教育委員会が中心となり、本計画を含む学校施設のマネジメントを実施していきます。なお、実施にあたっては、総合管理計画に示された「施設の統廃合、複合化、多機能化」等も視野に入れ、必要に応じ関係部署との横断的な体制で計画の推進と進捗管理を行っていきます。

また、地域コミュニティの核となる学校施設として、地域住民や関係団体等の市民意見を反映しながら施設の有効活用を進めていきます。

7-3 フォローアップ

学校施設の長寿命化に関して、今後30年の長期にわたる取組みを示した本計画の実施においては、学校教育を取り巻く環境の変化や児童・生徒数の変化等に対応するため、定期的に計画の進捗状況について確認し、目標の達成状況を正確に把握します。

また、施設の劣化状況等に関する点検・評価の結果を踏まえ、必要に応じて5年ごとの見直しを行います。